

人権教材

他にも多数の作品を
収載していますので、
是非ご活用ください。



ありったけの勇氣 DVD 〈27分〉

「いじめはやめよう！」と言える勇氣を、子供たちに持ってほしいと願って作られた作品です。

小学5年生の主人公のクラスでは、ある日些細なことをきっかけにいじめが始まってしまいます。主人公の親友はいじめを止めようとしますが、そのためにいじめの標的にされてしまいます。主人公は親友を助けたい気持ちと、いじめの怖さの狭間で悩みますが、やがて周囲の大人や友達の支えを得て…

友達との関わりや相手の心を尊重すること、そしていじめに立ち向かう勇氣の大切さについて描いています。

一枚の絵てがみ ビデオ〈43分〉

中学生の少女と祖母の心の触れ合いを通して、高齢化社会へ向けての問題を投げかける物語です。

主人公の少女は、絵手紙クラブに参加した祖母を通して、多くの高齢者や外国人たちと触れ合います。年齢・国籍に関係なく絵手紙を楽しむ人々の姿に、主人公は多くのことを感じ取ります。やがて祖母が病で倒れ、主人公一家と同居生活が始まります。しかし祖母は次第に居場所を失ってしまい…

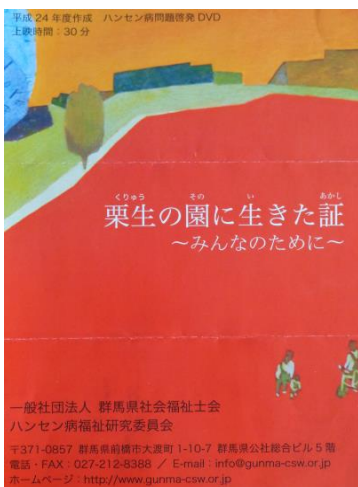
家族間、地域間での交流や、支え合いの大切さを訴えるアニメーションです。



栗生の園に生きた証 DVD〈30分〉

ハンセン病問題を通して人権への意識を高める作品です。本県の草津町に「栗生楽泉園(くりゅうらくせんえん)」というハンセン病の療養所があり(1932(昭和7)年～)、今でも100名を超える人々が暮らしています。

この作品は、「楽泉園がいつ、どうして作られたのか」そして「ハンセン病が治る病気になった今でも、なぜ多くの人がある所に暮らしているのか」ということについて、入所者や楽泉園で働いていた人、現在働いている人、そして近所の人へのインタビューを通して分かりやすく描いています。



申し込み先: 総合教育プラザ 教育資料室
TEL 027(230)9094 (月～金 9:00～17:00)
FAX 027(230)9099